

科学研究費助成事業（国際情報発信強化） 中間評価

課題番号	17HP1002	事業期間	平成29(2017)年度～ 令和3(2021)年度
取組の名称		団体名称	代表者名 (職名・氏名)
日本数学会出版業務のシステム構築および情報発信の統合的プラン		一般社団法人日本数学会	理事長・寺杣 友秀
学術刊行物の名称			(略称)
Journal of the Mathematical Society of Japan, Mathematical Society of Japan-Memoirs, Advanced Studies in Pure Mathematics			JMSJ MSJM ASPM

【令和元(2019)年度 中間評価結果】

評価	評価基準
A+	当初計画を上回っており、かつ改善した評価指標による目標達成が見込まれる。
○	A
A-	当初計画が達成されつつあり、今後の目標達成が見込まれる。
B	当初計画より一部遅れは見られるが、概ね今後の目標達成が見込まれる。
C	今後の目標達成の見込みはあるが、経費の使用に問題があるため、経費の減額が適当である。
(評価意見)	
<p>出版システムの構築や単行本の電子化など国際情報発信強化のための目標が着実に達成されつつあり、補助期間終了後も新システムでの情報発信は可能と判断できる。また、経費の使用もおおむね妥当と言える。国際数学会議で日本数学会のブースが他のブースより盛況だったとのことであるが、その理由を解析し今後の活動に活かせれば更なる向上が期待できる。残りの期間で、英文ホームページの改良、海外の数学会との一層の交流促進、編集システムの再構築、オープンアクセスの準備などの計画をしっかりと実行し、補助期間終了後も高い国際情報発信力のある団体となっていただきたい。</p>	